

メイン会場の場内を清掃

1/29 延岡花物語 — 実行委の150人

延岡花物語の実行委員会(谷平興二実行委員長)は26日、メインイベント「このはなウォーク」の会場となる延岡市の松山橋―五ヶ瀬大橋間の五ヶ瀬川河川敷で清掃奉仕活動を行った。

実行委をつくる企業や団体などから参加した約150人は、谷平実行委員長から担当エリアなどの指示を受け、各所で除草作業などに励んだ。国土交通省による砂利敷きなど事前の整備作業

もあって、今年は例年よりも処理する草の量は減少したものの、第一環境管理(高瀬誠社長・木武町)が無償提供したハッティカー4台はフル稼働。参加者も草刈りと収集、ごみの廃棄に汗を流して

いた。谷平実行委員長は「荒天が予想されたので参加は自主判断だったが、第一環境管理さんはじめ大勢の方に協力いただき、感謝しきりです」と話した。

今年の延岡花物語の開催期間は2月1日～4月5日。オープニングイベントとして2月10、11日に松山町の本東寺で「慧日(えにち)梅観梅会、同22～24日にメインの「このはなウォーク」、3月20日～最終日まで「ワ

イワイ花物語」が行われる。このほか桜と菜の花のライトアップ「桜花灯(あか)りの展示」(2月22、23日)、西郷隆盛の孫の西郷隆夫氏が参加する「出会いの聖地探訪バス



除草作業に励む参加者



乱車の出来上がりを確認する生徒たち(17日、可富中学校)